

担い手との意見交換

農地中間管理事業を効果的に推進するため、担い手との意見交換を実施しました。

- 1 日 時 平成29年6月16日(金)
- 2 場 所 埼玉県鴻巣市地内
- 3 意見交換者 農地中間管理事業サポータークラブ会員 7名
- 4 機構対応者 農地中間管理事業担当者3名

5 概要

(1) 会社からの説明

平成28年度農地中間管理事業の取組について
経営体育成条件整備事業の紹介
経営地の「見える化」(地図化)について

(2) 担い手からの意見

農地中間管理事業を活用しているサポータークラブ会員より、農地中間管理事業を活用すると賃料のやり取りの簡素化が図れてよかったので、他の会員も参加して方がよい。

経営地の「見える化」(地図化)は、平成28年に大規模稲作軽農家が事故により離農したケースがあったが、地図により何処を耕作しているか明確であったので、次の耕作者に引き継ぎやすかった。

農地中間管理事業の相談に市町村相談窓口に出向いたら、対応した職員が事業内容の理解が不十分だった。市町村にもっと積極的に取り組んでもらいたい。

稲麦作経営者会議の総会が平成29年8月に開催されるので、サポータークラブと農地中間管理事業の説明をしてもらいたい。